

2022年11月期 第2四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2022年7月14日

上場会社名 川上塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4616 URL <https://www.kawakami-paint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 泰通

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 松下 田佳子

TEL 06-6421-6325

四半期報告書提出予定日 2022年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年11月期第2四半期の連結業績 (2021年12月1日～2022年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第2四半期	2,653	4.3	59	26.0	84	0.8	65	0.3
2021年11月期第2四半期	2,544	3.6	46	—	84	—	65	—

(注) 包括利益 2022年11月期第2四半期 53百万円 (△60.1%) 2021年11月期第2四半期 134百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第2四半期	65.52	—
2021年11月期第2四半期	65.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第2四半期	7,594	2,558	33.7
2021年11月期	7,649	2,529	33.1

(参考) 自己資本 2022年11月期第2四半期 2,558百万円 2021年11月期 2,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2022年11月期	—	0.00			
2022年11月期 (予想)			—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年11月期の連結業績予想 (2021年12月 1日～2022年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	7.3	205	46.0	230	8.2	180	23.2	180.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

詳細は、[添付資料] P.8の「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年11月期2Q	1,000,000 株	2021年11月期	1,000,000 株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年11月期2Q	4,257 株	2021年11月期	4,214 株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年11月期2Q	995,758 株	2021年11月期2Q	995,931 株
-------------	-----------	-------------	-----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気の緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響に加え、部品・半導体不足や原材料・エネルギー価格の高騰など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高につきましては2,653百万円（前年同期比4.3%増）となりました。利益につきましては、原材料価格の高騰、物流コストや電力料の上昇など諸経費の増加により、経常利益84百万円（前年同期比0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益65百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

なお、当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が163百万円減少し、商品及び製品が85百万円増加したこと等により、7,594百万円（前連結会計年度末比55百万円減）となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が88百万円、未払法人税等が49百万円、流動負債その他が54百万円それぞれ減少し、短期借入金が131百万円増加したこと等により、5,036百万円（前連結会計年度末比83百万円減）となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が40百万円増加したこと等により2,558百万円（前連結会計年度末比28百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,085百万円（前年同期末残高2,031百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は35百万円（前年同期は261百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の減少額163百万円、仕入債務の減少額88百万円、税金等調整前四半期純利益84百万円、棚卸資産の増加額81百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は34百万円（前年同期は40百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の維持更新のための有形固定資産の取得による支出33百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は60百万円（前年同期は144百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入200百万円、長期借入金の返済による支出232百万円、短期借入金の純増額120百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月期第2四半期連結累計期間における売上高、利益ともに前回予想を下回りましたが、通期の連結業績予想につきましては、依然として厳しい状況ではありますが、生産の効率化・諸経費の削減・価格転嫁に取り組み、通期での計画達成を見込んでおり、2022年1月14日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,022,946	2,085,877
受取手形及び売掛金	2,129,403	1,965,578
商品及び製品	728,848	814,626
仕掛品	40,984	28,362
原材料及び貯蔵品	340,620	348,878
その他	44,876	42,628
流動資産合計	5,307,679	5,285,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	331,948	327,796
機械装置及び運搬具（純額）	235,668	213,771
土地	757,697	757,697
その他（純額）	56,477	59,372
有形固定資産合計	1,381,792	1,358,637
無形固定資産	28,294	24,980
投資その他の資産		
投資有価証券	791,665	769,055
その他	140,430	155,869
投資その他の資産合計	932,096	924,924
固定資産合計	2,342,183	2,308,542
資産合計	7,649,862	7,594,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,687,306	1,599,033
短期借入金	1,099,380	1,230,866
未払法人税等	82,819	33,600
その他	337,099	282,124
流動負債合計	3,206,605	3,145,624
固定負債		
長期借入金	888,984	845,190
退職給付に係る負債	816,142	837,071
その他	208,581	208,581
固定負債合計	1,913,708	1,890,843
負債合計	5,120,314	5,036,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	1,641,018	1,681,342
自己株式	△8,577	△8,680
株主資本合計	2,173,535	2,213,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397,863	381,733
退職給付に係る調整累計額	△41,850	△37,464
その他の包括利益累計額合計	356,012	344,269
純資産合計	2,529,548	2,558,026
負債純資産合計	7,649,862	7,594,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
売上高	2,544,004	2,653,475
売上原価	2,059,887	2,126,170
売上総利益	484,116	527,304
販売費及び一般管理費	437,212	468,206
営業利益	46,904	59,097
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	10,417	11,977
持分法による投資利益	1,230	1,240
技術権利料	8,292	7,338
助成金収入	19,652	8,619
その他	2,177	2,951
営業外収益合計	41,775	32,132
営業外費用		
支払利息	4,594	4,193
固定資産除却損	0	2,236
その他	34	38
営業外費用合計	4,629	6,467
経常利益	84,050	84,761
税金等調整前四半期純利益	84,050	84,761
法人税、住民税及び事業税	25,558	28,971
法人税等調整額	△6,534	△9,453
法人税等合計	19,023	19,518
四半期純利益	65,027	65,243
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,027	65,243

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	65,027	65,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,242	△16,129
退職給付に係る調整額	904	4,386
その他の包括利益合計	69,146	△11,743
四半期包括利益	134,174	53,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,174	53,500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,050	84,761
減価償却費	69,778	62,716
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,024	27,248
受取利息及び受取配当金	△10,421	△11,981
支払利息	4,594	4,193
助成金収入	△19,652	△8,619
為替差損益(△は益)	△466	△1,233
持分法による投資損益(△は益)	△1,230	△1,240
売上債権の増減額(△は増加)	△3,809	163,824
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,274	△81,413
仕入債務の増減額(△は減少)	123,170	△88,273
その他	△57,665	△57,365
小計	209,645	92,617
利息及び配当金の受取額	10,421	11,981
利息の支払額	△4,681	△4,190
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	29,470	△75,126
助成金の受取額	16,892	10,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,749	35,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,994	△33,599
投資有価証券の取得による支出	△180	△180
その他	△288	△496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,463	△34,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	110,000	120,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△232,428	△232,308
リース債務の返済による支出	△8,021	△2,334
配当金の支払額	△24,921	△24,919
その他	—	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,628	60,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	458	1,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	366,373	62,931
現金及び現金同等物の期首残高	1,665,403	2,022,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,031,777	2,085,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、販売奨励金等の顧客に支払われる対価について、従来は、販売費及び一般管理費、営業外費用に計上しておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,471千円、販売費及び一般管理費は9,382千円、営業外費用は89千円それぞれ減少しております。また、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当期首残高に与える影響額ははありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。